

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

藤田守彦 会長 年度テーマ

=先人に感謝、今日から、そして明日へ=
ホップ、ステップ、ジャンプ!!

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 岩田 宏



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 藤田 守彦
幹事 田島 陽介

事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第861回 例会No. 45 平成 25年 6月27日(木) 晴	
■ ローターソング	「それでこそロータリー」
■ 出席報告	会員44名中21名出席
■ 出席率	53.84% 出席計算人数39名
■ 修正出席率	6月13日 95.12%
■ スピーカー	会長・幹事・次年度ガバナー補佐

会長挨拶

皆さん、こんにちは。今年度最後の例会となりました。皆様への御礼は思いも含めて後ほどさせていただきます。最後の会長挨拶ですから「格調」高くしたいのですが、私に似合いませんので、平凡な御話をしたいと思います。会員の皆さんで「二宮金次郎」を知らない方はないと思います。最近の経営書にも「二宮尊徳」の関連が多く出版されています。私の卒業した小学校にも、蒔を背負い、本を読みながらの銅像が有りました。最近「本を読みながら歩くのは危険。子供が真似ると困る」「子供に重い薪を背負わせて、肉体労働を強いるのはよくない」等々を理由に撤去されているそうです。あの銅像を見て「その様な発想」しか出来ない親が居る事が真に残念でなりません。

金次郎が育ったのは、小田原だそうです。江戸時代小田原は宿場町で、燃料としての薪は高値で売れたそうです。そこで金次郎は村の共有地で拾った薪を町に売りに行く事を思いついたそうです。そしてコツコツとお金を貯めた金次郎は奥地の山を買い、さらに大量の薪を売って蓄財し、金融業にも進出しました。そうした才覚を買われた金次郎は小田原藩に取り立てられ財政建て直しに貢献をしたそうです。今で言う「小田原ドリーム」という事でしょうか。銅像だけを見て判断するのではなく、その中に込められた「真実」を確認する事の大切さを改めて感じました。

更に二宮金次郎は多くの言葉を残しています。「良い人財、貨財は富める人の処に集まると思いがちだが、節儉なる処と勉強をしている人に集まる。」と説いています。

また「貧富の差は分度[収入に見合った支出]を守るか失うかの違いである」とも言っています。これは現代にも通じる言葉と思います。

先人の教えには頭が下がります。私も「分をわかまえ、奢らず」社会人として、ロータリアンとして活動をして行きたいと思えます。これを持ちまして最後の会長挨拶とさせていただきます。

ニコBOX

藤田会長 一年間、御協力有難うございました。

藤野さん 幾多のご指導、有難うございました。

吉田さん 誕生のお祝いありがとうございました。藤田会長、楽しい一年でした。ありがとうございました。

田島さん 一年間、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

●本日は本年度最後の例会です。会長・幹事そして皆さんも一年間有難うございました。来週からはまた新たな一年を頑張りましょう!

長谷川、矢野、岩田、大附、若原、西川、成田、大岩、水野、加藤、高山、磯部、亀井、河原、松尾、和田
(敬称略)

本日合計 59,000円



役員章 贈呈

次年度会長 西川 博さんと同じく幹事 加藤久明さんに、藤田会長より会長幹事役員章を贈呈致しました。



退任挨拶

会長 藤田守彦



幹事 田島陽介



次年度ガバナー補佐の豊富

2013-14 年度西名古屋分区ガバナー補佐 川原弘久



次年度の西名古屋分区ガバナー補佐を仰せつかりました。

地区内の役割は米山奨学委員会担当です。

ロータリーの素晴らしい活動

の一つに米山奨学会の貢献があります。当クラブも是非この活動を支えていきたいと思っております。当クラブだけでなく、各クラブにもお願いにあがる所存でございます。みなさんのご協力をお願い致します。

ロータリー フォト俳句展 出展作品

名古屋北 RC の「写真友の会」「俳句友の会」が主催される、「第 2760 地区 第3回フォト俳句展」に当クラブより池井戸貞夫さん(俳句)と西川 博さん(フォト)が出展されました。



ロータリー資料

(ロータリージャパンウェブより転載)

「国際ロータリー(RI)理事 RI会長の選ばれる方」

国際ロータリー(RI)理事

国際ロータリーは「世界中のロータリー・クラブの連合体」(『手続要覧 2007 年』P57)です。その会長、RI会長 (president) が、RIの最高役員です。『手続要覧 2007 年』P59 によれば「会長は、RIの第一の代弁者であり、国際大会とRI理事会の会合を主宰し、事務総長に助言し、その他の任務を行う(RI細則6.140.1.)」とあります。そしてRIの管理主体もクラブと同様に理事会で、RI理事会は 17 人の理事とRI会長、RI会長エレクト (president-elect) の 19 人で構成され、この理事会の議長は「最高役員」であるRI会長です。 RI理事は、パストガバナーであることなどの条件を踏まえ、世界に 34 あるゾーン内のクラブ会員から 1 名、4 年おきに指名(ノミネート)され、ここで「RI理事ノミニ」が誕生します。理事の任期は 2 年。就任する前々年度の国際大会で選挙され「RI理事エレクト」となり、7 月 1 日からエレクト職を 1 年務めた後、いよいよ「RI理事」となります。

RI会長

では、RI会長はどのように決まるのでしょうか。まず、先に触れましたが、RI理事指名のために設けられた 34 のゾーンから選挙された、17 人の委員によって構成されている「RI会長指名委員会」によって、RI会長は就任の前々年度に指名され、RI会長ノミニとなります。次に、前々年度の国際大会で選挙(エレクト)され、RI会長エレクトとなります。現在のケニー2009-10 年度RI会長の例でいえば、「2009-10 年度RI会長指名委員会」が、2007 年 9 月に会長ノミニとして指名しました。対立候補者が特に提出されなかったので、12 月 1 日に正式なRI会長ノミニになっています。そして 2008 年 5 月のロサンゼルス国際大会でRI会長エレクトに選ばれ、その職を一年間務め、2009 年 7 月 1 日からRI会長となり、原則 2010 年 6 月 30 日までの一年間、RI会長任期を務めます。 RI会長になる資格としては、指名される以前にRI理事経験者でなければなりません。RI理事はパストガバナーですから、会長も当然パストガバナー。また、RI会長を務めた後ですが、RIの他の役職に就くことも多く、例えば現在のロータリー財団管理委員長フランク・デプリン氏は、2000-01 年度のRI会長でした。 RIの代弁者である会長は、アメリカ・イリノイ州エバンストンのロータリー世界本部で執務している時以外は、各国を訪問していると言っていいでしょう。日本には、東京で開かれる、ロータリー研究会やクラブの例会などに訪れています。 なお、RI会長ノミニが決まると、近刊号の『友』誌に紹介記事が掲載されます。『友』ホームページには 9 月のRI指名委員会の後、RIからの連絡が届き次第、その情報をご案内しています。

☆☆例会のご案内☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◎7月4日(木) 第862回例会 「年度方針」

◎7月11日(木) 第863回例会 「ローターアクト」

地区 RA 委員長 寺本善雄 様ほか

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆